

# 天領

創立40周年記念号

第28号

1994年12月



社団法人 石見大田法人会会報

# 目 次

創立40周年記念 式辞	2
創立40周年記念 祝辞	3
創立40周年記念 式典次第	9
創立40周年記念 来賓ご芳名	10
創立40周年記念 表彰状・感謝状受賞者名	11
創立40周年記念 法人会40年のあゆみ	12
創立40周年記念 記念講演	13
創立40周年記念 特別講演会	14
創立40周年記念 式典	15
石見大田法人会役員名簿	19
平成6年度通常総会開催	20
着任のごあいさつ	21
税のこぼれ話	21
平成6年度納税功労者表彰式	22
質問手帳	24
第八回クイズおもしろミニナール	25
企業訪問(コードレ化成株式会社)	26
天領の秘話④「家康は銀山を狙う(銀山を知るきっかけ)」	28
ミニ税務コーナー	30
第19回会員親睦ゴルフ大会開催	31
石村勝郎(積久)先生のプロフィール	32
税を知る週間行事「地区別ミニ税金フォーラム」	34
石見銀山・根ほり葉ほり「古文書が語る石銀の大集落」	35
わが社のふれっしゅさん	36
ないしょの話	36
囲碁問題	36
スパー介護定期保険法人契約のご案内	37
法人会の大型保障制度	38
囲碁問題の解答	40
編集後記	40

## 三瓶高原マラソンの叙情

標高450メートルの草原を舞台に、三瓶高原マラソンが始まったのは昭和51年11月3日。平成6年には第19回を迎えた。

神話の山、ロマンの山を全国の人々に知ってもらおうと、大田市と地元とが企画したが、いまは伝統の催しとして定着した。

第1回は40歳から78歳までの、男女459人が、秋田県から宮崎県に至る広域参加でスタートし、三瓶高原高齢者マラソンと名づけたが、最近では16歳からの参加に広げ、より親しみのあるものとし、三瓶高原マラソンと改称した。

平成6年は東は大阪、西は佐賀県から、あわせて429人が高原の秋を楽しんだ。

定め松(西の原)から志学までを折り返す、5キロと男子のみの10キロのコースで、男女別、年齢別にわけ、山と人が一体になって走るマラソン風景は、ほの白い穂さきを並べる、ススキの群落と共に、どこから眺めても、美しい絵になるマラソンである。

(石村記)

氏 東 大 木 鈴 字 題





▲歴代署長

# 式 辞



社団法人石見大田法人会会長  
奥野 昌平

本日ここに、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典を挙行いたしました処、広島国税局猪木法人課長殿、澄田島根県知事殿、熊谷大田市市長殿を始め、多数のご来賓の皆様には、公私ともご多端の折、遠路態々ご臨席を賜り、まことに有難く、厚く御礼申し上げます。

また、会員の皆さんには、ご多忙の中多数ご出席いただき、今日の喜びを共にすることが出来たことは、感慨一人でございます。

さて、当社団法人石見大田法人会は、本年十月、創立四十周年を迎えることが出来ました。顧みますと、戦後の経済復興がやっと終った、昭和三十年十月七日、大田市、瀬摩郡の四十四社をもって「大田瀬摩法人会」を設立。その後、昭和五十六年十一月婦人部の結成、同六十二年九月には「石見大田法人会」として社団化、平成六年四月青年部設立等組織の強化に努めました。そして、研修会・講習会による税務知識の普及、会報「天領」の発刊及び福利厚生事業の導入・充実等々幾多の重要課題の推進に取組み、現在会員数三百八十社、組織率六十一%までに成長することが出来ました。

これもひとえに、関係ご当局のご指導と歴代会長・役員並びに会員の皆様の並々なご努力とご支援の賜でありまして、心から感謝申し上げますとともに、深甚なる敬意を表する次第であります。

今日の日本経済は、ご承知のように三年以上の長きに亘る、平成不況を克服し、緩やかな回復過程に入っております。併し乍ら、円高、内外格差の是正、生産基地の海外移転、価格破壊、規制緩和、「高級志向」から「実質本位」に転換した消費者意識の変化等々に直面し、日本企業は今二十一世紀に向けて新たな競争と構造改革の時代を迎えております。私どもは、よき経営者を目指すものの団体の一員として、このような時代の変化に適切に対応し、自己の企業を守り、繁栄させ、地域社会の健全な発展に寄与しなければならぬと考えます。

終りに、私ども会員一同は、創立四十周年を契機に決意を新たにし、一致協力してより良い社団法人石見大田法人会づくり更に更に努力し、地域経済の発展に寄与したい所存でございますので、ご来賓の皆様には、何卒一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。



# 祝 辞



広島国税局 法人税課長

## 猪 木 益 人

本日ここに、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典が、かくも盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

法人会の皆様方には、日頃から税務行政に対して深い御理解と御協力を賜っており、本席をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

社団法人石見大田法人会は、昭和三十年に大田邇摩法人会として発足され、以来、組織の強化と会員の増強、各種事業活動の充実に向けて積極的に取り組んでこられました。

特に、昭和六十三年には法人会を社団化し、そして本年四月には青年部会を創立され、納税意識の向上と企業及び社会の健全な発展に貢献するために幅広い活動を積極的に展開されているところであります。

今日このような立派な法人会を築かれたのも、奥野会長をはじめ歴代の役員の方々の優れた指導力の下に、皆様方が一致協力して御尽力された賜であり、皆様方の御努力、御熱意に對しまして深甚なる敬意を表する次第であります。

ところで、皆様御承知のとおり、最近の税務行政を取り巻く環境は、納税者数の増加及び課税対象増大のすう勢に加え、経済構造、経済取引の変容が著しく、質量両面にわたって厳しさを増してきております。

このような環境下において、本年度の税制改正では、当面の経済の低迷を打開するための一年限りの措置として、大規模な所得税の特別減税が実施されましたが、特に今回の給与特別減税につきましては、定率減税による還付という、今までに例のない方法によるものであり、源泉徴収義務者の皆様方にかんがりの事務量負担をお掛けすることになることから、私どもといたしまして、法案成立以来、広報、説明会、指導を中心とした諸施策をきめ細かく実施し万全の体制を整えてきたところであります。

幸いにも、法人会の皆様をはじめとする関係者の方々の御理解と御協力を得て、大きな混乱もなく夏期の給与特別減税を実施することができました。この給与特別減税は、本年の年末調整においても行われることから、皆様方の更なる御理解と御協力を賜り、特別減税が円滑かつ適正に実施されることを願って止まないところであります。

私ども税務行政に携わる者としては、法人会の皆様方と長年にわたり培ってきた信頼関係を引き続き大切にして、更に強固なものとしていくとともに、適正・公平な課税の実現に一層努力し、国民の皆様方に信頼される税務行政の確立に努めてまいりたいと考えております。法人会の皆様方におかれましても、創立四十周年を契機として、より一層活発な活動を推進されますとともに、従来にも増して、税に対する良き理解者として、一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに当たり、社団法人石見大田法人会のみならずの御発展と、会員各社の御繁栄並びに御臨席の皆様方の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 祝 辞



島根県知事

## 澄 田 信 義

一言お祝いを申し上げます。  
本日ここに、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典が挙行されますことに、心からお喜び申し上げます。

貴会が設立されましたのは、日本経済が戦後の回復期を脱して、高度成長期に足を踏み入れようとした昭和三十年でありまして、設立当時わずか八十社余であった会員は、今や約四百社に増え、発足当時の約五倍と確固たる組織を誇っておりますことは、歴代会長はじめ役員の方々と並びに会員各位のたゆまぬ御努力のためものでありまして、ここに深く敬意を表する次第であります。

また、先ほど永年の功績により感謝状をお受けになりました皆様には、心からお祝い申し上げます。

さて、本県におきましては、若年層を中心とした県外流出などにより、人口の減少と高齢化が進行する厳しい状況にあります。

このような状況にあって、県におきましては、新たな県政運営の基本指針となる、新しい長期計画を策定しました。

この計画は、本県に住む人々、あるいはこれから住もうとする人々が、県内のそれぞれの地域において、いきいきと豊かな生活を営むことができ、産業活動をはじめとした様々な活動が県下各地域において活発に展開される、豊かで躍動する島根をめざしたものであります。

今後、この長期計画に基づく諸施策を着実に推進してまいりたいと考えておりますので、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

皆様方の事業も、依然として低迷を続ける地域経済のもとでは、厳しいものがあるとは思いますが、一段の努力を重ねられ、会員各社のますますの御発展・御隆盛を心から願っていますのであります。

さて、政府は、所得税の減税と消費税率の引き上げを柱とする国税改正法案とともに、個人住民税の減税と地方分権の推進、地域福祉の充実等のため、地方税源の充実を図る観点から、現行の消費譲与税に代えて地方消費税を創設しようとする地方税法改正法案を閣議決定し、国会に提出しました。この地方消費税は、全国の地方自治体がこぞって導入を求めていたものであります。賦課徴収につきましては、当分の間、国が消費税とあわせて行うこととされていきますので、皆様の御理解をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、社団法人石見大田法人会のみならずの御発展と皆様方の御活躍をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

# 祝 辞



大田市長

熊谷國彦

本日ここに、石見大田法人会創立四十周年記念式典が挙行されるに当たり一言お祝のご挨拶を申し上げます。

石見大田法人会におかれましては、昭和三十年十月の創立以来今日に至るまで、社会に貢献する法人会を目指されると共に、健全な納税団体で良き経営者の団体として、常に研鑽を重ねられ地域社会発展のために色々とご活躍いただいております。日頃のご尽力に対し、深甚の敬意を表する次第でございます。

また、本日表彰をお受けになりました皆様は、いずれも多年にわたり指導的な役割を果たされ、他の模範として選ばれた方々でございます。これまでのご労苦とその顕著なご功績に対し重ねて敬意を表し受賞の榮譽をお祝申し上げます。

さて、今日、日本経済は長びく不況からようやくにして景気回復の兆しが見え始めたものの、予相を超える急激な円高進行や地方企業の海外進出等により産業の空洞化は新しい局面を迎えており、地域経済に及ぼす影響も極めて大きく深刻な状況となっております。

しかしながら、どのような現下の情勢であろうとも、私たちは主体的で自主的な地域づくりを基調に、市民福祉の向上のため邁進しなければなりません。

当市におきましては、人口定住と高齢化対策を主要課題として自然や貴重な文化遺産を活かし誇りと愛着のもてるまちづくりに努力しておりますので今後とも一層のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

終わりに皆様方の益々のご健勝と石見大田法人会の限りないご発展を祈念いたしまして祝辞を併せて挨拶いたします。



## 祝 辞



社団法人島根県法人会連合会会長

## 野々村 卓

本日ここに、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典にあたり、お祝いのごことばを申し上げる機会を与えられましたことを大変光栄に存ずるところでございます。

石見大田法人会の四十年の輝かしい足跡に対し、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げる次第でございます。

さて、石見大田法人会は、初代恒松於菟一會長のもと会員八十七社により、税務、経理の重要性と経営の合理化を研究する指導機関として、また健全なる申告納税制度の育成を目的に、大田邇摩法人会として昭和三十年十月七日、県下七法人会中、最初に設立された法人会とお聞きいたしております。

以来、歴代会長以下、役員、会員一丸となって組織の強化と事業活動の活性化にたゆまぬ努力を傾注され、昭和五十八年には県下唯一の婦人部会、現在の女性部会を結成、昭和六十三年九月には社団法人化も達成されております。

現在会員数四〇〇社、加入率六四％に増強され、県下でも組織率、事業内容とも上位の単位会に位置されております。

この間、日本経済は第一次、第二次オイルショック、近年ではバブル経済の崩壊による急激な景気後退など、数々の荒波を経験し、とくに中小企業にとりましては苦難を余儀なくされてまいりました。

こうした企業をとりまく環境のなか、納税協力団体として、申告納税制度の確立と、納税意識の高揚を目的に掲げる我々法人会の役割はますます大きくなってまいりました。そして、全法連が昨年C Iを導入されてからは、新たに「地域社会への貢献」が基本理念に加えられ、更に法人会は地域に密着した活動の展開を考えていかねばならないと思っております。

我々島根県連もこれに基づき、県下会員手をたずさえて新しき現念の具現のため努力していかねばなりません。また、ご高承のとおり来年十月には当県連が松江市のくにびきメッセにおいて、全国から二千名の会員をお招きし、第十三回法人会全国会員大会（しまね大会）を主管することとなっております。「島根に来て良かった。」と喜んでいただけるよう皆様のご協力を仰ぎ、万全の企画、準備、実行していかねばならないと心しております。

最後に、日頃ご支援、ご指導をいただいております各界のご来賓の皆様方に心から厚くお礼申し上げます、またつつがなく本日四十周年を迎えられた奥野會長以下、役員、会員の皆様に対し感謝いたすとともに、社団法人石見大田法人会をますますのご発展をお祈り申し上げます。



# 祝 辞



石見大田税務署長

## 武内 勝郎

本日ここに、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典が関係者多数御臨席の下に、かくも盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

法人会の皆様方には、税知識の普及を通じて納税道義の高揚を図る会活動をはじめとし、税のオピニオンリーダーとして御尽力されておりますことに対し深甚なる敬意を表しますとともに、常日頃税務行政に御支援を頂いておりますことに対しまして、この席をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、石見大田法人会は、昭和三十年十月に大田邇摩法人会として創立し、昭和六十三年九月に社団化され、本日までたく創立四十周年を迎えられたものであります。

この間、会員の皆様には、良き経営者を目指す者の団体という理念の下で、熱心な会活動を通じて地域に密着した魅力ある「法人会」作りに努めてこられました。

昭和五十八年十一月に婦人部、本年四月には青年部を創設されるなど、目覚ましい発展を遂げられました。

これもひとえに、歴代の会長様方をはじめ役員・事務局の皆様方の御熱意、御努力の賜と深く敬意を表する次第であります。

ところで、現在開会中の国会におきまして税制改正が論議されておりますが、国民の皆様方の税に対する関心は高まり、特に、税負担の公平確保を求める声は従来にも増して一段と高くなるものと思われれます。

申すまでもなく、適正公平な課税の実現と信頼される税務行政の確立が我々税務行政に携わるものに取りましては究極の課題であります。

しかしながら、適正公平な課税の実現は私たちの力だけでは到底なしえない課題であり皆様方の協力なくしては果たせない、未永い道でもあります。

石見大田法人会の皆様方におかれましては今後とも当地区経済界のリーダー、また税に対する良き理解者として、積極的な法人会活動を通じ、正しい税知識の普及、納税道義の高揚に更に御尽力賜りますようお願い申し上げます。

終わりに当たり、社団法人石見大田法人会の一層の御発展と会員の皆様方企業のみましますの御繁栄を心から祈念いたしまして私の祝辞とします。

# 祝 辞



大田商工会議所副会頭

## 布 引 進

咲きみだれたコスモスの花も美しき本日、社団法人石見大田法人会創立四十周年記念式典が、会員多数ご参加のもと盛大に開催されます事に對し心からお祝い申し上げますと共に、本日は、本日表彰並びに感謝状の榮に浴されました方々に、まずもってお喜びを申し上げます。

皆さま方は永年、事業活動に積極的に協力された功績により、この榮譽に結ばれたものであり深く敬意を表します。

どうか今後共、法人会発展に存分なるご活躍をご期待申し上げます。

平素皆さま方には、商工会議所事業に格別のご理解とご協力を賜って居りますことをこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

特に本年は、大田商工会館建設に当り、物心両面に亘ってご協力を賜り、本年七月には盛大な竣工式を挙げる事が出来ました。

ここに改めて感謝申し上げます。

さて、経済大国といわれている我国は、莫大な国債を抱え乍ら本年も又、大巾な税収不足が予測されております。

現在不況も底をついたとの報道がありますが、当地方にはいまだその実感がないというのが現情であります。

会員の皆様は、法人会の目的である健全な納税者団体として、又、良き法人企業の団体としての活動を通じて企業経営と社会の健全な発展に貢献していただく事をご期待申し上げます。

昭和三十年十月、大田瀨摩法人会として会員八十四社で設立されたとうかがっております。

爾来五十八年には、婦人部を設立、六十二年には、社団化を達成され、さらに平成六年には、青年部の設立など法人会の充実に努めてこられました社団法人石見大田法人会の益々のご発展と会員各位のご活躍を心からお祈りしてお祝いのご挨拶と致します。



## 40周年記念式典次第

14:00～15:00 於 大田商工会議所

1. 開式の辞 副会長 和田 俊 二
1. 来賓紹介
1. 会長式辞 会 長 奥 野 昌 平
1. 感謝状贈呈
1. 来賓祝辞 広島国税局法人税課長 猪 木 益 人 殿  
島 根 県 知 事 澄 田 信 義 殿  
大 田 市 長 熊 谷 國 彦 殿  
広島県法人会連合会々長 野々村 卓 殿  
石見大田税務署長 武 内 勝 郎 殿  
大田商工会議所会頭 奥 野 昌 平 殿
1. 祝電披露
1. 閉式の辞 副会長 嶋 崎 忠 夫

## 記 念 講 演

15:00～16:00 於 大田商工会議所

- 演 題 「**税務行政の現状と税制改革について**」  
講 師 広島国税局法人税課長 **猪 木 益 人 氏**

## 記 念 祝 賀 会

16:30～18:00 於 大田グランドホテル

## 来賓ご芳名

## 【官公庁】

広島国税局法人税課長	猪木益人殿
石見大田税務署長	武内勝郎殿
元石見大田税務署第41代署長	山本晃殿
元石見大田税務署第42代署長	高橋光男殿
元石見大田税務署第45代署長	松崎昌保殿
元石見大田税務署第54代署長	中島茂殿
元石見大田税務署第57代署長	安松隆司殿
元石見大田税務署第59代署長	高田資生殿
石見大田税務署総務課長	国岡重勝殿
石見大田税務署統括官	川上真次殿

## 【地方公共団体】

島根県知事	澄田信義殿
大田市長	熊谷國彦殿
温泉津町長	宮原史郎殿
仁摩町長	泉道夫殿
大田市議会議長	岩谷博殿

## 【商工会議所・商工会関係】

大田商工会議所会頭	奥野昌平殿
温泉津町商工会々長	森崎提璋殿
仁摩町商工会々長	菅森岩夫殿
大田商工会議所専務理事	森吉喜八郎殿

## 【法人会関係】

社島根県法人会連合会々長	野々村卓殿
社松江法人会々長	野々村卓殿
社出雲法人会々長	今岡正一殿
社雲南法人会々長	福庭祥人殿
社浜田法人会々長	石原一男殿
社益田法人会々長	大畑實殿
社島根県法人会連合会事務局長	園山巍殿
社島根県法人会連合会	岡本敏子殿

## 【有誼団体】

中国税理士会相談役	渡辺常弘殿
中国税理士会石見大田支部相談役	中田信雄殿
中国税理士会石見大田支部支部長	中島和夫殿
大田邇摩青色申告連合会々長	清水敬二郎殿
石見大田納税貯蓄組合連合会々長	竹腰和夫殿
石見大田酒造組合理事長	若林謙太郎殿
大田市青色申告会婦人部長	後長愛子殿
石見大田納税貯蓄組合連合会婦人部長	杉谷富美江殿
税理士	月森豊殿
税理士	竹下績殿
税理士	勝部幸吉殿
税理士	柿田茂昭殿
税理士	千賀満殿
税理士	橘容殿
税理士	田中一男殿
税理士	三谷清殿
税理士	桃木孝雄殿

## 【共済制度取扱会社】

大同生命松江支社長	夏目栄一殿
大同生命浜田営業所長	石村康夫殿
アメリカンファミリー生命保険会社広島支社長	若杉公一殿
A I U保険会社松江支店長	鹿野徹殿



## 表彰状・感謝状受賞者名

(敬称略)



### 【役員感謝状】

株式会社大島屋商店	和田俊二
税理士	渡辺常弘
南布引商店	布引進
株式会社森崎窯業	森崎提璋
南石東林業商会	松井義夫
株式会社平和商会	秋田俊郎
大田石油株式会社	難波和夫
南貴船電気商会	貴船富市
浜覚肥糧株式会社	西村禎二
南たけごし家具	竹腰和夫



### 【婦人部育成功労感謝状】

婦人部長	市楽勢
------	-----



### 【事務局表彰】

元事務局	熱田勝逸
元事務局	小谷昌三
事務局	三谷尚治
事務局	岩永和子
事務局	勝部哲男

### 【当会運営功労感謝状】

中国税理士会石見大田支部  
 大同生命保険相互会社松江支社  
 アメリカンファミリー生命保険会社広島支社



## 法人会40年のあゆみ

昭和30年10月	大田邇摩法人会創立、会長 恒松於菟二	会員 84社
昭和34年11月	二代会長 杉谷長一郎	会員 103社
昭和40年11月	三代会長 大西福藏	会員 119社
昭和47年11月	四代会長 竹原清造	会員 141社
昭和52年 4月	会員増強運動を実施	会員 279社
昭和52年 5月	全会員の会費自動振替の実施と「大田邇摩法人会々員の章」を作成	
昭和52年11月	「法人学校」をはじめめる	
昭和53年11月	大田・東部・西部での税務署との意見交換会スタート	
昭和55年 9月	総務・事業・広報委員会制度発足	
昭和55年11月	創立25周年記念式典の開催	会員 327社
昭和55年12月	会報「天領」の創刊号発行	
昭和57年 9月	五代会長 天崎正一	
昭和58年 4月	島根県モデル法人会に指定	
昭和58年11月	婦人部会結成・初代会長 市楽勢	会員 86名
昭和59年11月	全法連より会員増強優秀会として表彰を受ける	
昭和60年11月	創立30周年記念式典を開催	会員 338社
昭和62年11月	クイズおもしろ <sup>®</sup> ミナールスタート	
昭和63年 9月	社石見大田法人会創立総会、会長 天崎正一	
昭和63年11月	東部・西部・地区別ミニフォーラムスタート	
昭和63年11月	厚生委員会発足	
平成 2年 8月	六代会長 奥野昌平	
平成 6年 4月	法人会青年部結成、初代会長寺戸隆文	会員 52名
平成 6年10月	創立40周年記念式典	会員数 380社



記念講演

税務行政の現状と  
税制改革について

広島国税局法人課長 猪木 益人



創立四十周年の式典に引き続き、広島国税局法人課長猪木益人氏に記念講演をいただきました。身近な税金の話に始まり、最近注目が集まっている財政の現状、税制改革の行方等について一時間に亘って解り易く講演されました。その一部を記載いたします。

暮しと税

私達の身近な所の税を一般常識の話として、酒、たばこ、自動車についてどの程度の税を負担しているか、簡単に説明してみます。

【酒について】

酒税は従量税で小売価格に関係なく、同じ種類の酒であれば同額の税金を加算されています。

- 清酒一升 253円
- ビール大瓶141円
- 焼酎甲類 280円
- それ以外に小売価格に消費税も含まれています。

【たばこについて】

たばこ税には国税、道府県税、市町村税があり一本当たり約6.2円と消費税が含まれています。

私達が仮に毎日ビール一本、たばこ一箱を消費するとして、一年間に約10万円の税金を払うこととなります。

【自動車税について】

自動車を購入すれば次の様な税金があります。

- 自動車重量税 国税
- 自動車取得税 地方税
- 自動車税 地方税
- 消費税 国税



又、ガソリンを購入すれば各種の税が1ℓ当たり約60円が加算されています。

中国地方では1.8人で一台中自動車を保有していますので、その税も相当な額になります。

【公債残高について】

昭和四十年に建設国債が約二千億円発行しスタートしました。

その後、オイルショックによる歳入不足を補うための特別国債（赤字）で発行残高も急激に増加しました。

平成六年度公債残高は約201兆円に達し、国民一人当たり約161万円の金額になります。

【高齢化社会について】

人口構成の推移によりますと、生産人口（20～65才）と高齢者の比率が急激に縮少し、社会保障費の増大をどのように負担していくかが、今後の大きな問題点になっております。

【税制改革について】

景気対策、公債残高の増大、高齢化社会を考慮しながら今後の税制改革の動向について

(イ)平成七年以降の所得税、個人住民税の減税については制度減税と特別減税の二階建て方式が論議されています。

(ロ)消費税について

既に減税が先行している中で消費税のアップが論議されています。仮に消費税を1%引き

上げますと、約2.4兆円になります。

税率論議の大勢は5%であり、その内1%は地方税にする案が有力であります。

【消費税の益税について】

- (イ)免税点制度
  - (ロ)限界控除制度
  - (ハ)簡易課税制度
- 以上の制度には消費税の益税があります。

消費税の引き上げと共に益税も増加するので、この制度の見直しも検討されています。

この他多くの話しをいただきましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。

（税制改革法は十一月二十五日に成立しております。）

諸外国における消費税

国名	税率	食料品
デンマーク	25%	25%
スウェーデン	25	21
ノルウェー	22	22
イギリス	19	4
フランス	18.6	5.5
オランダ	17.5	6
ドイツ	17.5	7
イタリア	15	10
スイス	10	3
日本	3	3
韓国		
日本		

# 特別講演会

H6.12.5 サンレディー大田

## 「私の生き方」

講師 中村メイコ



2才のとき或るきっかけから芸能界入りした中村メイコさんは、現役の女優です。その長いキャリアの中で、仕事と家庭、家族とのつながりについて七色の話法で、ユーモアのある講演でした。

### 【講演要旨】

- いつも笑顔の母親で、家族の円滑油の私
- 早起励行、さわやかモーニングコールの私
- 手造り料理で家族の健康管理



▲挨拶をする  
奥野会長



▲総合司会の  
竹原事業委員長







◀会長挨拶



▲法人会役員・婦人部での受付



◀島根県知事祝辞



▲控室でのお迎え



◀大田市長祝辞  
「の現状と  
改革について」  
猪木 益  
人税課長



◀島根県法人会連合会会長祝辞  
「の現状と  
改革について」  
猪木 益  
人税課長

▶玄関に立てられた記念式典の看板



▲開式前の控室風景

平成六年十月二十五日  
法人会創立四十周年記念  
式典を迎える事となりました。  
当日は朝から素晴らし  
い日本晴れで天も祝賀し  
ているような一日であり  
ました。  
約一ヶ月前より役割分  
担など法人会役員、婦人  
部の皆さんの協力で準備  
を進め当日のお客様をお  
迎えました。  
午後一時過ぎより受付  
が始まり、二階控室では  
婦人部の皆さんの心のこ  
もったお茶席で開式前の  
一時をおくつろぎ頂きま  
した。  
波多野司理事の流暢な  
司会でスムーズに開式、  
会長挨拶表彰式、祝辞：  
…と進行しました。  
休息を挟んで猪木広島  
国税法人税課長の記念講



◀役員感謝状贈呈



◀波多野理事による司会



◀式典風景



▼バスでの移動



演「税務行政の現状と税制改革について」分かりやすくお話を頂きました。  
(別掲)

予定通りの行事を終えて祝賀会場大田グラントホテルへバスで移動、四時三十分より森崎副会長の開宴の挨拶、そして司会者の指名で猪木広島国税法人税課長、多久和出雲総務事務所長、椋木大田市助役、武内石見大田税務署長、奥野会長の皆様で威勢良く縁起物の鏡開きが行われ、石原浜田法人会会長様のご発声で乾盃！賑やかに宴が開かれました。

婦人部会から、平成元年名取「藤間晃美佳」を襲名された渡辺佳子理事の祝舞「園生の菊」が艶





▲乾盃



▲鏡開き



▼琴城流大正琴大田五弦会による大正琴

渡辺婦人部会理事による祝舞



しめくくりは菅森仁摩町商工会々長の音頭により万歳三唱で四十周年の祝賀の宴がお開きになりました。

宴もたけなわになり、司会の山下時子嬢の甘い歌声を聞きながらなごやかな内に祝宴も盛り上がり、最後に婦人部会員が結成された大田名物「あゆみ太鼓」が力強く鳴り響き波多野、勝部、柳沢、市村、渋谷、森野婦人部会員により「シマネスク」、「ウントコドッコイショ」2曲が演奏されました。

やかに披露され、吾郷義男先生率いる「琴城流大正琴大田五弦会」により大正琴の演奏（「青春時代」他）が行われました。





▼婦人部会員による大田名物  
「あゆみ太鼓」



▲万歳



# (社)石見大田法人会役員名簿

平成6年11月30日現在

役 職	事 業 所 名	氏 名	住 所	委員会
顧問	大田商工会議所会頭		大田	
会長	島根中央信用金庫	奥野 昌平	大田	総務
副会長	(株)大島屋商店	和田 俊二	温泉津	広報
〃	(株)富士ドライ	嶋崎 忠夫	久手	事・厚
専務理事	大田商工会議所専務理事	森 吉 喜八郎	大田	
常任理事	(株)中央計算センター	渡邊 常弘	〃	広・厚
〃	中国税理士会石見大田支部長	中島 和夫	〃	総務
〃	(有)布引商店	布引 進	〃	事業
〃	(株)森崎窯業	森崎 提瑋	温泉津	総・厚
〃	菅森建設(有)	菅森 岩夫	仁摩	総務
理事	(有)石東林業商会	松井 義夫	久手	広・厚
〃	(株)平和商会	秋田 俊郎	仁摩	総務
〃	大田石油(株)	難波 和夫	大田	事業
〃	(有)貴船電気商会	貴船 富市	仁摩	広・厚
〃	浜覚肥糧(株)	西村 禎二	久手	広報
〃	(有)たけごし家具	竹腰 和夫	大田	広報
〃	(有)倭建設	倭 隆	〃	総務
〃	大田マルキ(株)	石田 弘行	静間	広報
〃	(有)和田食品	和田 正	大田	総務
〃	石東スズキ販売(株)	大谷 光弘	〃	総・厚
〃	(有)松井清商店	松井 順一	長久	総務
〃	(株)たけはら	竹原 鐵太郎	大田	事・厚
〃	大田生コンクリート(株)	堀 芳信	波根	事業
〃	(株)青木組	勝部 謙吉	大田	事業
〃	(有)小林造船所	小林 博通	温泉津	広・厚
〃	(有)小川商店	小川 良知	温泉津	事・厚
〃	(株)島根建材公社	寺戸 隆文	大田	総務
〃	石州水上産業(株)	有間 隆	水上	総・厚
〃	(有)芝尾瓦工場	芝尾 金男	〃	事業
〃	昭和技研(株)	金川 昭	大田	事業
〃	はたの産業(有)	波多野 司	〃	広・厚
〃	(有)仁万屋	石田 憲咲	〃	広報
〃	波多コンクリート工業(株)	波多 志朗	久利	事・厚
〃	(株)三谷設計	三谷 忠義	久手	広報
〃	若林酒造(有)	若林 謙太郎	温泉津	事業
〃	島根ゼオライト(有)	石橋 秀利	仁摩	事業
監事	林商事(株)	林 基一郎	長久	総務
〃	東和建設工業(株)	波多野 諭	大田	広・厚

(注)／総(総務委員会)、事(事業委員会)、広(広報委員会)、厚(福利厚生委員会)

平成六年度

# 通常総会開催

平成六年度通常総会は去る、九月八日大田町会館「仁万屋」において、会員多数のもとに開催された。

当日来賓には石見大田税務署武内署長他をお迎えして盛会に開催された。

奥野会長の会員、役員に対して一年間の法人会事業活動の御協力に感謝の意を表すると共に、新年度につきましてもより以上の御指導、御協力をお願いいたします等々……の挨拶の後、議長となり議事に入っていった。

一号議案、平成五年度事業報告並びに収支決算承認の件。

二号議案、平成六年度事業計画並びに収支予算案承認の件。

三号議案、定款一部変更承認の件。

四号議案、監事補選の件で東利建設工業(株)波多野論が選任された。

五号議案、創立四十周年記念式典の件。

以上の議案につき審議を行ない、全議案満場一致で承認された。

当日の予算案、収支決算は下記の通りです。



## 平成5年度(第6期)収支決算書

自平成5年7月1日  
至平成6年6月30日

### 収入の部

科目	予算額	決算額	増減△
1. 会費	6,200,000	6,170,000	△ 30,000
2. 事業費補助金	3,800,000	4,473,157	673,157
3. 事業収入	200,000	180,000	△ 20,000
4. 雑収入	375,132	262,557	△ 112,575
当期収入合計(A)	10,575,132	11,085,714	510,582
前期繰越収支差額	7,124,868	7,124,868	0
収入合計(B)	17,700,000	18,210,582	510,582

### 支出の部

科目	予算額	決算額	増減△
1. 事業費	4,150,000	3,403,875	△ 746,125
研修・講習会等費	3,100,000	2,705,516	△ 394,484
会報発行費	750,000	622,369	△ 127,631
婦人部運営事業費	300,000	75,990	△ 224,010
2. 会議費	1,700,000	1,415,427	△ 284,573
総会費	700,000	599,012	△ 100,988
役員会費	500,000	472,071	△ 27,929
委員会費	500,000	344,344	△ 155,656
3. 管理費	3,465,000	3,214,397	△ 250,603
人件費	2,200,000	2,200,000	0
事務局費	350,000	255,147	△ 94,853
渉外費	150,000	85,510	△ 64,490
旅費	150,000	91,740	△ 58,260
負担金	600,000	582,000	△ 18,000
雑費	15,000	0	△ 15,000
4. 積立金	2,000,000	2,000,000	0
記念行事	1,000,000	1,000,000	0
運営積立金	1,000,000	1,000,000	0
5. 雑出金	58,000	58,000	0
6. 予備費	6,327,000	1,520,430	△4,806,570
当期支出合計(C)	17,700,000	11,612,129	△6,087,871
当期収支差額(A)-(C)	△7,124,868	△ 526,415	△6,598,453
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	6,598,453	6,598,453

## 平成6年度(第7期)収支予算書(案)

自平成6年7月1日  
至平成7年6月30日

### 収入の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△
1. 会費	6,200,000	6,200,000	0
2. 事業費補助金	3,644,500	3,800,000	△ 155,500
3. 事業収入	200,000	200,000	0
4. 雑収入	257,047	375,132	△ 118,085
当期収入合計(A)	10,301,547	10,575,132	△ 273,858
前期繰越収支差額	6,598,453	7,124,868	△ 526,415
収入合計(B)	16,900,000	17,700,000	△ 800,000

### 支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△
1. 事業費	4,850,000	4,150,000	700,000
研修・講習会等費	3,100,000	3,100,000	0
会報発行費	750,000	750,000	0
婦人部運営事業費	300,000	300,000	0
青年部運営事業費	700,000	0	700,000
2. 会議費	1,900,000	1,700,000	200,000
総会費	700,000	700,000	0
役員会費	500,000	500,000	0
委員会費	700,000	500,000	200,000
3. 管理費	4,615,000	3,465,000	1,150,000
人件費	2,300,000	2,200,000	100,000
事務局費	350,000	350,000	0
渉外費	150,000	150,000	0
旅費	150,000	150,000	0
負担金	1,650,000	600,000	1,050,000
雑費	15,000	15,000	0
4. 積立金	2,000,000	2,000,000	0
記念行事	1,000,000	1,000,000	0
運営積立金	1,000,000	1,000,000	0
5. 雑出金	80,000	58,000	22,000
6. 予備費	3,455,000	6,327,000	△2,872,000
当期支出合計(C)	16,900,000	17,700,000	△ 800,000
当期収支差額(A)-(C)	△6,598,453	△7,124,868	△ 526,415
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0

## 着任のごあいさつ



石見大田税務署長  
武内勝郎

去る7月の人事異動により広島国税不服審判所より参りました、武内でございます。前任の高田署長同様よろしくお願いいたします。

会員の皆様方には、平素から税務行政に対し、格別の御理解と御協力を賜っており、紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

社団法人石見大田法人会におかれましては、昭和63年の社団化以来、会員増強等組織面、財政面の充実を図るとともに、各種研修会を活発に実施され、さらに本年4月には青年部の結成、10月に創立40周年記念式典を開催されるなど、魅力ある

法人会作りに精励されており、大変心強く感じております。これは、ひとえに奥野会長をはじめ役員、会員の皆様の熱意と努力の賜であると、深く敬意を表する次第でございます。

さて、ご承知のとおり、世の中は大きな変革期の真っ只中にありますが、税制面につきましても、急速に進む人口の高齢化と、あらゆる分野で進行している国際化を踏まえ、所得・資産・消費の間で均衡のとれた安定的な税体系を目指す、新しい時代に対応する税制改革の論議が活発に展開されております。

こうした中であって、私ども税務行政に携わるものといたしましては、会員の皆様方と長年にわたり培ってきた信頼関係を引き続き大切にするとともに、適正・公平な課

税の実現に一層努力し、皆様に信頼される税務行政の確立に努めてまいり所存でございます。

しかしながら、税務行政の円滑な執行は、私どもの力のみでは到底成し得るものではなく、国民の皆様の税に対する正しい御理解と御協力があったこそ可能であります。

この意味におきましても、幅広い事業活動を活発に推進されて、企業経営の健全化及び税知識の普及と納税道義の高揚に貢献されてきた、社団法人石見大田法人会の存在は誠に心強い限りであり、今後とも一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに、社団法人石見大田法人会の益々の御発展と、会員企業の御繁栄並びに皆様方の御健康を祈念いたしました。ご挨拶とさせていただきます。

## 税のこぼれ話

熱の島

「ヒートアイランド」

ってどこにある？

南の国の島の名前ではありません。日本の都市にできる島の事です。

えっ？日本の都市に島ができる？びっくりされたかもしれないませんが、その正体を説明しましょう。今、都市では、確実に温暖化が進んでいます。大都市ほど急速で、東京では地球の温暖化の十倍の速さで進んでいるといわれています。地図の上

に等温線を書き入れてみると、都市の高温部が島のような形状に描き出されることから、「熱の島(ヒートアイランド)」と名付けられました。大都市はまさに、熱しやすく冷

めにくい状態にあり、東京や大阪では、冬日(一日の最低気温が0℃未満の日)の日数が著しく減少しており、高知市や鹿児島市のような南の都市と比べても少ないのです。

こうしたヒートアイランド現象は、冷暖房や自動車あるいは工場の排熱都市のコンクリート化、緑地の減少などによってもたらされます。都市をこの熱公害から守るためにすぐできる小さな努力のひとつとして、過剰な冷暖房などの光熱費等の経費の見直しや縮小等を考えてみてはいかがでしょうか。

これらの用途のために取得した省エネ対策設備については、青色申告に限り特別償却を設けるなど、税法も温暖化防止に一役買っています。

みんなの地球、やさしくしたいものです。



平成6年度

# 納税功勞者表彰式

新装された大田商工会議所三階大会議室に於て税を知る週間の初日十一月十一日、平成六年度「納税功勞者の表彰式」が開催されました。

当日は御来賓として出雲総務事務所長、大田市長、温泉津町長、大田商工会議所会頭、中国税理士会石見大田支部長をはじめとして各種団体長の方々の御臨席のもと、関係者総数六十四名の出席のもとに厳肅且つ盛大に行なわれました。

国岡総務課長の開会の辞に始まり、税務署長表彰が中田茂（中田本店店主）、大塚尚美（大塚豊装飾店店主）、西村禎二（浜覚肥糧株式会社代表取締役）、続いて税務署長の感謝状が落合忠（石見大田小売酒販組合主事）、貴船富市（有有限会社貴船電機商会代表取締役）、森山政宏（森山米

穀店店主）、又当日は広島国税局局长表彰の受彰披露も併せて行なわれまし。武内税務署長の式辞に続いて、来賓の方々より心あたたまる御祝の言葉を頂いた後、受彰者を代表して中田茂氏より「感謝の意と今後益々納税制度の推進と納税道義の高揚に努力します」と声高らかに受彰者代表のあいさつがあり閉会となりました。其の後、受彰者、来賓、石見大田税務署長を交えて記念撮影がありました。

## 祝賀会

午後五時より同会場に於て、簡粗の中にも心あたたまる御馳走に舌鼓をうつ人、お酒、ビール両方を手にしておめでどうとついで歩く人、ほんとうに賑やかに時間のたつのも忘れてなごやかに祝賀会が行われました。

### 国税局長表彰

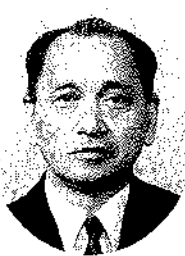
奥野 昌平 氏  
（大田市三瓶町）



- ・ 石見大田法人会会長
- ・ 広島根県法人会連合会副会長

### 税務署長表彰

中田 茂 氏  
（大田市三瓶町）



- ・ 大田商工会議所会頭
- ・ 税団協会長
- ・ 石見大田間税会監事

- ・ 石見大田小売酒販組合理事長
- ・ 池田商工振興納税貯蓄組合長
- ・ 石見大田納税貯蓄組合連合会理事
- ・ 大田市三瓶青色申告会監事
- ・ 税団協理事

大塚 尚美 氏  
（邇摩郡温泉津町）



- ・ 温泉津町青色申告会会長
- ・ 大田仁摩青色申告会連合会副会長
- ・ 税団協理事

西村 禎二氏  
(大田市久手町)



・ 石見大田法人会理事

税務署長感謝状

落合 忠氏  
(邇摩郡仁摩町)



・ 石見大田小売酒販組合  
主事

貴船 富市氏  
(邇摩郡仁摩町)



・ 石見大田法人会理事

森山 政広氏  
(大田市川合町)



・ 川合町納税貯蓄組合長

納税功勞者表彰式



# 質問帖

## 【質問】

最近のゼネコン汚職をきっかけに、企業のヤミ献金や賄賂が社会的に問題になってきている。今、使途秘匿金の課税が強化されたようですが、具体的にその内容について説明してください。

## 【回答】

### 一、使途秘匿金とは

使途秘匿金とは、法人の支出のうち、相当の理由がなく相手の氏名(名称)及び住所(所在地)その事由などが帳簿書類に記載されていないものをいい、この支出には、贈与などのための金銭以外の資産の引き渡しも含

みます。

### 二、使途秘匿金で注意すべきことは

(ア)金銭の支出は、費用としているかどうかを問わず、例えば貸付金、仮払金、借入金返済などの名目で支出されたものも含みます。

(イ)帳簿書類に記載された者を通じて、別の者に金銭等が渡っていると考えられる場合は、実質で判断されます。

(ウ)使途秘匿金として重課されたとしても、支出した相手の氏名等は税務当局の質問検査の対象となります。

(エ)帳簿書類の記載は会社の確定申告書の提出期限までです。調査の時などに発覚してあわてて書いても間に合いません。

### 三、使途秘匿金にはどれくらい課税されるか

法人が支出した使途秘匿金に対しては、現行の

法人税額に加えて税率40%による法人税を追加課税するというもので、連動する地方税と合わせると、企業は使途秘匿金とほぼ同額の税を負担しなければならなりません。

### 四、具体的にどのようなものが使途秘匿金になりそうか

断定的にはいえませんが、次のような事例の支出には、充分注意する必要があります。

#### 〈事例〉

①お礼を目的に購入した商品券、図書券、ホテルなどの食事券、旅行会社が発行した旅行券又はホテル利用券、プリペイドカードなどをさる人に贈与した。

②仲介又は紹介に対して計算根拠のないお礼金を渡した。

③政治団体へ寄付した。(違法な政治献金を含む)

④合理的な理由もない多額なお祝金を取引先などへ贈った。

⑤氏名などを明らかにできない相手方にリベートを支払った。

⑥賄賂や談合金を支払った。

⑦調査機関や協力者へ謝礼金を支払った。

⑧役員への貸付金、仮払金、立替金、借入金の返済などの名目になっているが、その使いみちが明確でない。

⑨取引の対価であるが、金額が妥当でない。(例えば、ある人から時価五千万円と思われるものを一億円で購入した)

#### 〈対応〉

③⑦など支払証明書に相手先を書くことによつて簡単にクリアできます。

また、事例①で自分の会社の名前が入っていないもので、それを一括購入しお礼として何がしか

の形で配るといような場合には、少なくとも受払簿をつけ「払い」の方に相手方の住所氏名を記載しておくようになります。

一番問題になりそうなのは、必ず契約書を作成しましょう。少なくとも計算根拠・基準を明確にし、稟議書を保存することを忘れないで下さい。

### 五、使途秘匿金はいつの支払いから課税されるか

平成六年四月一日から平成八年三月三十一日までの間に支出されたものに課税されます。会社の決算とは関係ありません。

(渡辺税理士)



今年も十一月十一日から十七日までの一週間、「税を知る週間」が全国一斉に実施されるなか、石見大田法人会が誇る全国でもユニークなイベント「クイズおもしろミナール」が、週間の締めくくりとして十七日、会館仁万屋において開催されました。

この「税」ミナールは昭和六十二年より当法人会主催によるクイズ形式の税の勉強会であり、大田市、邇摩郡の職場、団体、組合の中で、社会人一年生からベテランまでの精鋭を集めた十六チーム、四十八名の解答者と、その応援団等百余名を集め、税務に詳しい(？)税金博士を選びだすものです。竹原事業委員長のあいさつ、主旨説明、勝部事務局長の競技説明があり、記録集計、また解答ブックカードを運ぶ女性スタッフ

の準備も整い、いよいよ本番を迎えました。

この日の審査員は

石見大田税務署長

武内 勝郎氏

## 第8回 クイズ おもしろ「税」ミナール “信金チームの完全制覇”

大田市収入役

中田 為人氏

税理士会大田支部長

中島 和夫氏

山陰合銀大田支店長

加茂 明久氏

第七回税金博士

吉田 英樹氏

ミス天領クイーン

上野 美晴さん

の方々に厳正な審査のなか心暖かい採点をお願い



し、緊張の第一ステージ、そして会場の誰もが解答者になるなごやかな第二ステージへと進行し、税にちなんだ問題が次々と飛び出し、その正解ごと

に会場のどよめきが沸き上がる中、初優勝を目ざし信金チームが着々と得点を重ね見事、団体、個人一、二、三位の独占という「税」ミナール初の完全制覇をなすとげ、第一回から連続参加チームとしての面目をほどこした。今年の税金博士には、坂根宏司さんが選ばれました。

### 個人の部

- 優勝 坂根宏司さん
- 準優勝 川上 潤さん
- 第三位 山尾 一郎さん

### 団体の部

- 優勝 島根中央信用金庫
- 準優勝 田平務管理事務所
- 第三位 駅前通り振興組合
- 第四位 ファミリーパートナーズ
- 第六位 にこにこスタンプ
- 第六位 大田市役所
- 第七位 仁摩商工会婦人部
- 第七位 商工会議所婦人部
- 第九位 日本団体生命
- 第十位 本通り商店会
- 第十二位 大田町婦人部



第十二位 温泉津商工会婦人部  
 第十三位 東和建設工業  
 第十四位 大島屋商店  
 第十五位 商工会議所青年部  
 第十六位 ハローワーク  
 おもしろさに引き込まれ知らず知らず税への関心が高まるこの「税」ミナールを支えた税務署、市役所、商工会議所のスタッフの皆様、本当にご苦勞様でした。次回は、もっとやさしい問題をお願いいたします。(参加者一同)

## 企業訪問

# わが社の経歴

## コードレ化成株式会社



取締役工場長 島中省三

(資本金 五、〇〇〇万円)  
(従業員 二百十五名)

当社は、昭和六十三年八月に資本金五、〇〇〇万円、従業員百二十四名で帝人コードレ株式会社の子会社として設立し、県内では数少ない化学系の工場として、人工皮革・合成皮革の製造を行なっています。

設立以降、帝人㈱が長年培ってきた繊維の技術力と資本力を背景に、年々増加した受注量を湿式三号成形機の新設やその他生産設備の増強・従業員の増員などを行ない、

生産性・品質の向上をはかりながら対応してきました。また、工場西側に三、〇〇〇坪の敷地を取得し、以前より進めていた新プロジェクトの生産設備を新設することができ、今まで以上の高品質の製品を作り上げ、新しい分野への展開を行なっています。

そもそも人工皮革・合成皮革とは、古くから人々が動物より食肉とその他の副産物として「皮革」を



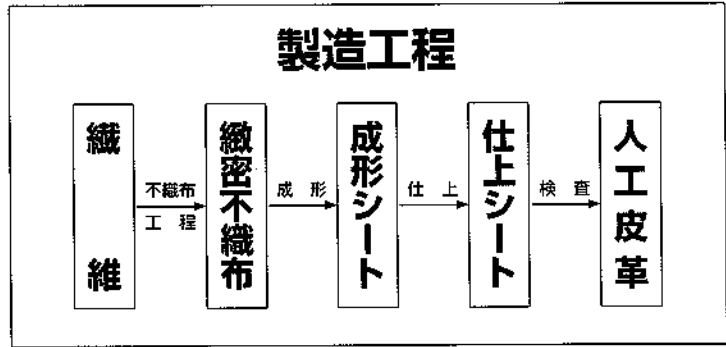
得、生活の中で防寒・保温・身体保護・保存運搬用具として使用していましたが、その後のなめし技術の進歩により、用途の広範囲化と高級化をもたらしてきました。

しかしながら天然皮革は加工に多くの人手を要し、自動化・省力化が難しく、また近年動物愛護が強まる中、その用途の広範囲化による供給にも限度があり、価格的にも

安定しない面を持っています。

このような中、戦後天然皮革の代替品として開発されたのが「塩ビレザー」です。塩ビレザーは織布の表面にポリ塩化ビニル樹脂をコーティングし、防水布・革代用品として生産され、その後のエンボス技術や発泡技術などの改良により、外観的には天然皮革の代用品としての基盤を築きました。塩ビレザーと同様に織布の表面に、ナイロン系及びウレタン系樹脂をコーティングし、耐寒性・触感・透湿性などの改良をはかったのが「合成皮革」です。この合成皮革は、塩ビレザーにない優雅さとしなやかさなどが認知され、またドライクリーニングが可能なことなどから、衣料用途に多数使用されています。これらの塩ビレザー・合成

## 製造工程



皮革は、ともに織布の表面加工を行ない、表面のみを天然皮革に似せて作られたものであり、天然皮革の持つ構造や性能とは異なるものです。これに対し「人工皮革」は、天然皮革の外観ばかりで

なく、単繊維を絡ませて作られた不織布に弾性多孔質樹脂を含浸・コーティングし、不織布の繊維と含浸した樹脂は非接合状態にして柔軟性を持ち、天然皮革の構造に近い物を持っています。

当社の人工皮革は、帝人㈱の繊維を関係会社で緻密不織布や織布・ニットに加工した基布に、成形工程においてポリウレタン樹脂に顔料・溶剤などを配合したドーブを含浸・コーティングし、水で樹脂を凝固させ天然皮革と同様な機能を持った多孔質構造の成形シートを作り、次工程の仕上げ工程においては、天然皮革と同様な紋柄を付けるエンボス工程や表面を削りスエード調に仕上げる研磨工程・色付けを行なうグラビア工程などの多数の工程を通り、天然皮革

と同等あるいはそれ以上の性能を付与した製品を作り、最終検査工程では、製品外観のキズ・汚れおよび製品巾や厚さなどの外観・性状検査と剝離強度・引張り強度・破裂強度などの物性検査を行ない、お客様に満足していただける製品を提供して

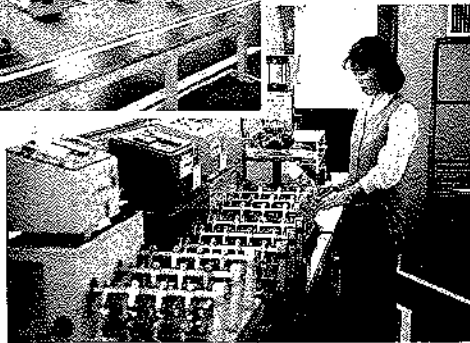
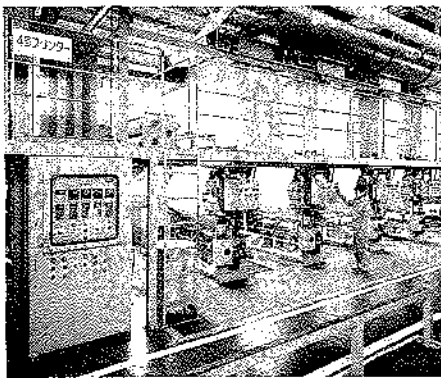
います。

使用用途としては、嗜好性が強く性能要求も厳しいスポーツシューズ分野においては、アップリー材や補強材として国内有名メーカーはもとより、ナイキ・アディダス・リーボックといった海外有

名メーカーにも多数使用されています。その他色彩・タッチと感性を要求されるファッション衣料分野、さらには耐久性・安全性が要求される自動車内装関係分野にも使用されています。

今後新しい分野に進出するためにも、帝人の基礎技術を基盤とした研究開発を強化し、多様化する時代のニーズにあった製品開発を行ない顧客ニーズに対応したいと考えています。そのためにも全員参加で品質を上げるQC活動や安全を確保する5S活動などを主体とした人材育成を行ない、働きがいを持つ職場作りに努力していきたくと思います。

今後とも皆様方の暖かいご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。





天領の秘話 ②4

家康は銀山を狙う

(銀山を知るきっかけ)

石村勝郎

関ヶ原の役のあと

慶長五年(一六〇〇)、

九月十五日、関ヶ原の戦

いで勝利を挙げた徳川家

康は、二十五日には突然、

石見銀山と江の川を結ぶ

地域の大家、三原、井田、

福光、波積、都治、河上

の七か村に禁制を送りつ

けている。内容は、軍勢

の乱暴、放火、田畑の刈

取りや竹林の伐採をきび

しく禁じたもの。

毛利輝元の支配地、石

見銀山にいち早く目をつ

けた家康は、銀山から安

芸国へ通ずる銀の輸送コ

ースをおさえ、地域の人

々に、占領宣言ともうけ

とれる宣撫工作に、こう

してす早い手をうっているのは、家康の緻密な戦略といわれよう。

同じ宣撫工作は、関ヶ

原の戦いのあったあくる

日の十六日から二十三日

にかけて、近江、山城、摂

津、大和、河内、美濃の

おもな街道や名のある寺

院、神社三十八か所に出

しており、大坂城周辺を

取りまく地域を、わが手

におさめ、地理的に大坂

を孤立させる作戦もとつ

ている。

天下を狙う家康の、か

くれた作戦の、これらは

第一歩だった。

室町末期の石見銀山

大坂城周辺の攻略の次

に、石見銀山を標的にし、石見銀山を重要視した家康の考えは、どこにあったのだろうか。

関ヶ原で八万人余りの西軍をうち破ったあと、

家康は十七日には石田三成の居城、佐和山城(近

江)を落とし、二十日には

草津の大津城に入った。

後陽成天皇は、大納言の

勸修寺晴豊を大津城に、

勅使として派遣され、関

ヶ原の戦勝を祝う諭旨を

おくられた。

家康はこのとき、晴豊

の口から石見銀山につい

て、さまざまな情報を得

た。

そのころの石見銀山は

下河原に奉行所(西本寺

の向い側)を設け、佐世

石見守が管轄し、熱田平

右衛門ら銀山六人衆とい

われる六人の代官が、運

上分(税)や山役(鉱山

からの雑税)などを、分

担して取り立てていたが、

毛利氏が銀山から得ていた収入は銀三万枚(一二九〇貫)にのぼり、毛利の軍事的財政は豊かだった。

銀山を狙ったきっかけ

晴豊が石見銀山につい

てくわしかつたのは、永

禄五年(一五六二)、毛利

元就が尼子氏の勢力を排

除して銀山を占領したの

ち、銀山が再び狙われる

のをおそれた元就が、正

親町天皇に朝廷の御料所

として銀山を献じ、自分

はその下で代官として管

理したいと、願い出たと

きに、朝廷の窓口になつ

たのは、晴豊の父、尹豊

だった。

そして毛利家では毎年、

朝廷に銀の献納を行うよ

うになった。

毛利家文書によると、

天正元年(一五七三)ご

ろは、銀百枚(一枚は四

十三匁一六五匁)を貢

租として献納していたこ

とが、しるされている。

銀山がやがて、毛利と

豊臣との共同管理になつ

た時代にも、絶えること

なく献納が続いており、

献納をうける窓口になつ

たのは、勸修寺尹豊から

子の晴豊の時代になつて

も受け継がれ、晴豊は何

回か銀山を訪れている。

毛利元就が、中国地方

の九か国を、わがものに

できたのは、銀山の領有

によるところが大きかつ

た、という話しも下河原

の奉行衆からも聞いた。

毛利輝元だまされる

家康が晴豊から聞いた

情報は、正に正確だった。

九月二十五日、銀山周辺

に出した禁制は、晴豊の

話しがきっかけとなつて、

銀山の掌握に乗り出した

のだった。

それにしても晴豊は、

自分のおしやべりが、毛

利家の命運を左右したこ

とを知る由もなかった。



家康が银山周辺に出した禁制

家康は晴豊の話しを聞いて即座に、自ら筆をとって禁制を書いて、毛利の代官、吉岡隼人に送りつけたのだった。

家康にとって目の上のコブだった。福島正則、黒田長政を使者として輝元に、関ヶ原の戦いの際、あなたの背信行為は責めない。中国地方九か国百二十万石の毛利領地は

安堵する。豊臣秀頼の将来は尊重する。

といった条件を出して、西の丸からの退城を求めた。家康のずるい心のうちを読みとることのできなかつた輝元は、九月二十日過ぎには、西の丸を出て木津の毛利屋敷へ入った。

輝元としては、関ヶ原の戦いの際、名前だけでも西軍の盟主としてあげてあっただけに、うしろめたさがあったが、家康が「輝元に他意をもたない」と誓約したので、ほっとして大坂城を出たのだったが、輝元にかわって大坂城西の丸に入つたとたん、家康は手のひらを返し、「毛利の領地百二十万石の没収」をいい渡した、おまけに、毛利が軍事財産としていた石見银山に、知らぬ間に家康の禁制が布告

されたことを聞き、輝元はふるえ上った。

輝元は防長に転封 家康が情けようしやもない措置に出たのは、無限の夢を秘めている石見银山がほしかったためだつた。言い替えれば、石見银山のために、毛利は追いつめられたともいえる。

毛利元就が尼子氏を、さまざまな謀略を使って石見银山を奪いとつた、その因果がめぐつてきたともうけとれた。「本家危うし」の知らせをうけた広島城主、吉川広家は、家康と輝元の間立って、血のにじむような工作を行なった。広家は関ヶ原の役の後を通じて、家康の味方になって働いた。信頼する広家の、命をかけての嘆願に、家康のかたい心がほぐれ、輝元はやつと周

防、長門で三十六万九千石の転封を許された。

中国地方九か国のうち、石見银山から一番離れた防長を選んだのは、家康の配慮だつたともいわれる。慶長五年十一月、家康は大久保十兵衛（のちに石見守）と彦坂小刑部元正を石見に下向させている。

大久保十兵衛は、武田信玄に任せ、甲斐の黒川金山の開発に携わっていたことがあり、银山の経営を十兵衛に、银山領内の行政を彦坂元正に検分させる狙いがあった。つまり武將の起用でなく、地方巧者を送りこんでいるのは面白い。同じ十一月、出雲に武將の、堀尾吉晴を送りこんでいる。石見银山を堀尾氏の武力で防衛させる狙いがあったからだつた。

# ◆◆◆税務コーナー◆◆◆

「わが社の株はいくらで譲れば問題はないか。」これは中小企業オーナーの悩みです。取得者が従業員や親族の一部だと額面金額で移動しても税務上問題ない場合があります。親族表を片手に難解ですが研究されては。

取引相場のない株式を取得した場合の評価方法に簡便な配当還元方式があります。これは課税時期の直前期末以前2年間の平均配当率を10%で除し、これを一株の額面金額に乗じて評価額を算出します。例えば配当率が10%なら評価額はちょうど額面金額になります。配当還元方式により株式が評価される者①同族株主のいない会社

の株主のうち株主の1人及其の同族関係者の持株割合が15%未満の株主②同族株主のいる会社の同族株主以外の株主③同族株主等のうち特定の株主（役員である者及び法定申告期限までに役員になる者は除く）

①同族株主のいない会社において持株割合が15%以上の株主グループに属する株主の中に中心的な株主がいる場合には、その中心的な株主以外の株主で持株割合が5%未満となる株主②同族株主のいる会社の同族株主のうち、いずれかの同族株主グループの中に中心的な同族株主がいる場合には、その中心的な同族株主以外の株主で持株割合が5%未満

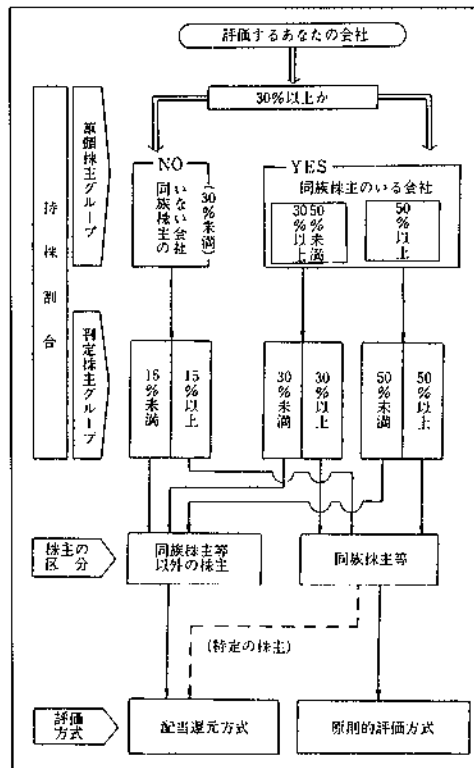
となる株主

同族株主、中心的な株主、中心的な同族株主の判定

①同族株主とは課税時期におけるその株式の発行会社の株主のうち、株主の1人及びその同族関係者（株主の親族等法人税法施行令第4条に定める）の有する株式の合計数とその会社の発行済株式数の30%以上である場合におけるその株主及其の同族関係者をいいます。ただし1グループで50%以上を所有するグループがある場合は、そのグループの株主だけが同族株主となり、その他の株主は、すべて同族株主以外の株主となります。

②中心的な株主とは、同族株主のいない会社の株主で課税時期において株主の1人及びその同族関係者の有する株式の合計数とその会社の発行済株式数の15%以上である株主のグループのうち、いずれかのグループに単独でその会社の発行済株式数の10%以上の株式を有している株主がいる場合におけるその株主をいいます。

③中心的な同族株主とは、同族株主のいる会社の株主で課税時期に同族株主の1人並びにその株主の配偶者、直系血族、兄弟姉妹及び一親等の姻族（これらの者と特殊の関係にある会社のうち、これらの者が有する株式の合計数とその会社の発行済株式数の25%以上である会社を含む）の有する株式の合計数とその会社の発行済株式数の25%以上である場合のその株主をいいます。（竹下税理士）





# 会員親睦ゴルフ大会開催

## 優勝 郷原憲治氏

(水上運送有)

さる十月二十八日、大社カントリークラブにて第十九回会員親睦ゴルフ大会が開催された。



今回は当法人会創立四十周年を記念し特別大会として賞品も沢山に用意され、五十四名の参加者で盛大に開催された。

当日は空模様が悪く降水確率50%の中、雨が降らないことを祈りながらの大会であった。まず始めに和田副会長による始球式。素晴らしい球筋のショットでロングヒット。しかしなぜか煙が出ない(安全ラベルを剥がないで打つため。)国引コースと華蔵コースと同時に、それぞれ優勝の望みを心に秘

めて元気よくスタートした。

ハーフを終了しての昼食時ではスコアを見せ合いながら楽しい談笑する光景は日頃の忙しい仕事も忘れ愉快地懇親の輪が広がっていた。

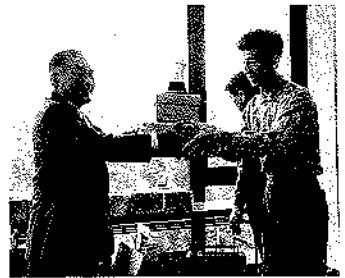
心配された天気も霧雨程度でプレーに影響もななく、一日楽しくゴルフができた。

### 表彰式

競技終了後、クラブロビーに於いて、懇親会の中で表彰式が行われた。



優勝 郷原 憲治



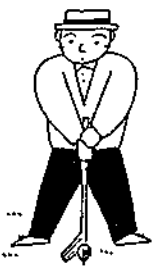
### 優勝のよろこび

郷原 憲治 氏

私のゴルフ歴は十年ぐらいかと思いますが、最近では、優勝という二文字には、とんと縁がなく、今回このような大きな大会で優勝出来ましたことを大変嬉しく思っております。

当日パートナーの方に恵まれたのはいうまでもありませんが、初対面の方もあり、程好い緊張感を持ってプレー出来たことが、良い結果に結び付いたのではないかと思います。

今後、一層の精進をし、次回も楽しいゴルフをしたいと思っています。



準優勝 吉川 宏  
三位 木建 弘康  
四位 神戸 奨  
五位 市村 省吾  
六位 石原 安明  
以上がパープレイヤー  
BG賞 吉川 宏  
創立賞 齊藤 寛  
BB賞 竹原鐵太郎  
その他DC賞、DT賞、NP賞、モニング賞、その他沢山の賞品が渡された。

今大会で吉川さんはグロス75、4アンダーの素晴らしい成績でトップでしたが、初出場のため、大会規定により残念ながら準優勝となりました。

## 山陰中央新報社の地域開発賞に耀く

# 石村勝郎(禎久)先生のプロフィール



去る十一月二十四日、

山陰中央新報社地域開発賞  
賞島根県第三十三回文化  
賞の表彰式が、松江市殿  
町の山陰中央新報社で挙  
行され、大田市大田町の  
郷土史家、石村勝郎先生  
(七七九)に表彰状と副賞が  
贈られました。

私共大田市民として、  
郷土の誇りである石村先  
生のご受賞はまことに喜  
ばしく、特に先生に常日  
頃御配慮を頂いている法  
人会として、此の機会に  
同先生のプロフィールを  
ご紹介申し上げたい。

石村先生と、法人会会

報「天領」とのおつきあ  
いは、一九八〇年(昭和  
五十五年)十二月号の創  
刊号からである。石見銀  
山をめぐる、さまざまな  
史話を、さまざまな角度  
から描いてもらった。

石村先生は、青年時代  
は詩文学に傾倒され、戦  
前の松江市で、グルーブ  
「松江詩と歌の会」を主  
宰され、詩の雑誌「詩祭」  
を発行するなど活躍して  
おられたが、戦後になっ  
てお勤めの関係で大田町  
に移ってこられた。

出雲神話のルーツとも  
いふべき、大田・瀬摩海  
岸に残る神話や、放牧牛  
で表徴されたむかしの三  
瓶山、そのころ、まるで  
ゴーストタウンだった大

森町に秘められたロマン  
な歴史が、詩人である石  
村先生の心をゆさぶった。

石村先生は

「私にとって幸いだけ

たことは、石見銀山や三  
瓶山、そして海岸部に残  
る神話のそれぞれが、い  
ずれも研究されておらず、  
従ってそれが整理されて  
書物になっていないこと  
だった。まるでパイオニ  
アになった気持で手をつ  
けました。」

と話しておられるが、  
それがさっそく成果とな  
ってあらわれた。

昭和三十七年に「三瓶  
山物語」、昭和四十年に  
「石見銀山物語」を出版  
された。海岸に残る出雲  
神話については、昭和五  
十一年に「石見・出雲幻

の神話」をあら  
わされた。

ことし六月に

は、「いも代官・

井戸平左衛門」

を刊行されたが、

小学校の社会科

で扱われたりす

る「いも代官」

について、真実

の姿を書き残し

ておきたいとい

う石村先生のひ

たすらを願いが、

こめられている。

石村先生の、この一筋  
な郷土愛で、まとめられ  
た本は三十二年間で実に  
十四冊にのぼり、ほかに  
詩集の「無」を出版され  
た。

本の出版とは別に邑智  
郡浜原の八幡城の頂上に  
は石村先生の「史碑」が  
建っているし、変わったと  
ころでは、国道九号線の  
ジョイフル天領の玄関に  
は自然石の「詩碑」が異

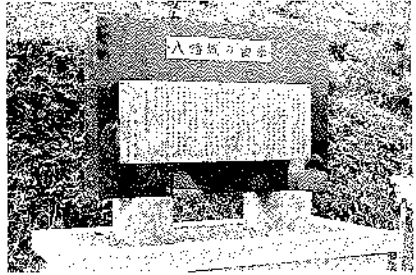


石村さん著の出版物の一部

彩を放っている。

昭和初年に「石見銀山  
に関する研究」をあらわ  
された山根俊久先生(浜  
田市名誉市民)と石村先  
生を対比する人は、山根  
先生は、「石見銀山を縦の  
研究で世に出され、石村  
先生はこれに対して横の  
研究により、銀山のポピ  
ュラー化をはかられたと  
評している。

特に山陰中央新報紙上



石村さん筆の八幡城の史碑(邑智町浜原)

で、昭和五十六年七月から五十八年三月にかけて、「石見銀山秘話」を百十二回にわたって連載されたことにより、石見銀山は広く世に知られるようになり、今日の史跡観光開発のきっかけになったといわれよう。

この他にハス博士、大賀一郎先生と大田市の間にたつて、二千年ハスの導入あっせんに尽され、大田市を本家にして荒神谷遺跡や出雲大社神苑などに二千年ハスが移植されたことなど、石村先生

の文化的功績は語り尽せないほどである。次に石村先生の出版物をご紹介します。

◎出版物

- 昭37・10 三瓶山物語
- 昭40・6 石見銀山物語
- 昭42・7 三瓶山の史話
- 昭46・10 新石見銀山物語
- 昭51・8 石見出雲幻の神話
- 昭54・10 石見銀山・三瓶山秘抄
- 昭56・2 温泉津物語
- 昭56・8 石見銀山異記
- 昭57・5 石見銀山異記
- 昭59・8 三瓶山(歴史と伝説)
- 昭62・3 東いわみ物語
- 昭63・6 石見銀山(戦国の争乱・鉦山社会)
- 平元・3 石見大田城
- 平6・8 井戸平左衛門
- 昭52・10 詩集「無」

合計

- 石見銀山 七冊
- 三瓶山 四冊
- 神話 一冊
- 石見大田城 一冊
- 温泉津物語 一冊
- 詩集 一冊
- 計 一五冊

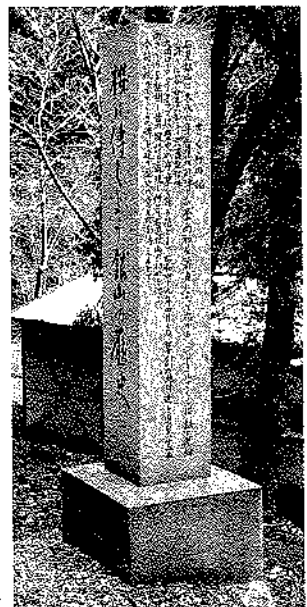
◎石碑

- 昭52・10 山根俊久史碑の撰文(銀山)
- 昭56・7 天領詩碑、ジョイフル天領(国道九号線)
- 昭61・7 銀山桜並木に由来碑(銀山)
- 昭62・11 八幡城史跡(浜原交差点(邑智町))



ジョイフル天領前の石村さん筆の詩碑

銀山・大谷の銀山由来碑(石村筆)



合計

- 詩・文碑 二
- 撰文 二

◎表彰歴(文化観光功労)

- 昭50・10 大田商工会議所会頭
- 昭50・11 大田ロータリークラブ会長
- 昭54・4 俳句雑誌「石見」
- 昭56・1 大田市長
- 昭57・7 島根県観光連盟会長
- 昭59・8 大田市観光協会会長
- 昭52・9 温泉津町観光協会長

以上、独断で先生のことを誌しましたが、書き洩らしたことや先生に対

し失礼なことも多いと存じますが、何卒平素の親交にあまえてお赦し戴き度いものと願っています。最後に私的なことで恐縮ですが、私の事務所の自室には、石村先生の詩の横額を掲げています。

「石見銀山」

銀の山々の  
たたずまいは  
陰影を重ね  
しじまは永劫を  
語りかける  
ひしと石くれに  
声なく 枯草は  
歴史のむなしさを  
訴える

(法人会広報委員会  
委員長 渡辺常弘)



# 税を知る週間行事

自 11月11日 至 11月17日

## 地区別ミニ税金フォーラム

第六回地区別ミニ税金フォーラムが東部、西部

の両会場で開催されました。地区別に「意見交換会」としてスタートとしたこの行事も17回目になり、5年前から取り入れたクイズ方式によって、楽に全員が参加、活発な



意見交換、特に今回の消費

費税改正に併う簡易課税制度の変更に質問が集中するなど、両会場とも盛りあがって出席者からも大変好評でありました。

### 東部地区

11月14日 午後2時

水明館（波根町）

石見大田税務署

武内署長

川上統括官

斎藤上席調査官

税理士会

柿田税理士

橘 税理士

会 員 三十五名

### 西部地区

11月15日 午後2時

小鉄屋旅館（仁摩町）

石見大田税務署

武内署長

川上統括官

斎藤上席調査官

税理士会

月森税理士

桃木税理士

会 員 三十八名

開会に当たり、和田、

鳴崎副会長より、日頃の法人会事業活動に対してご協力のお礼と、納税者としてより一層の税知識の理解を深めて頂きたい……との挨拶のあと、新任の武内税務署長より、

税制改革に伴う今後の税務の見通し、また行政サービスの内容を中心に、消費税の導入から一般に税が身近なことになっていく今日、税の役割と重



要性を正しく理解して、普及してほしい……とのご挨拶を頂いた。

税務サービスについて、川上統括官より、電話を利用する「タックスアンサー」等の説明のあと今年度の税制改正の要点と特別減税について、配布資料の解説がありました。続いて「租税教育のために」「ザ・マルサ」のVTRの上映がなされ、税金が国民生活のなかで有意義に使われ、正しい納税がいかに重要であるかが、あらためて認識された。

恒例のフォーラムでは全問択一式で、税の種類

から始まり、酒、タバコ等の間接税、土地の譲渡や持家取得の税控除等の設問に、隣り同士で意見交換しながら、税務署長はじめ税理士先生の詳しい解答、解説には、質問が活発になされ、なかには詳細な解答は後日という質問があるほどでした。

最後に解答優秀者3名に賞品が贈られ、和やかな中にも火花の散ったクイズの幕が降りました。その後の懇親会では質問しにくい個人的な話や、税制の今後の見通しなど有意義な懇談の中、会員のとおっておきの隠し芸も飛び出し、盛会のうちに終了した。



## 石見銀山・根ほり葉ほり

# 古文書が語る石銀の大集落

## 石村勝郎

### 集落跡の発見

石見銀山の名で表徴される仙の山の、一段低くなっている東側の平地の地名を、「石銀」と呼ぶ。

仙の山から、この石銀を結ぶ林道仙の山線の工事が行われたとき、石銀で集落跡が見つかり、大田市教育委員会の遠藤浩巳さんが、約三百六十平方尺の範囲で調べ、道路跡や建物の基礎となっていた石垣や銀の精錬作業所跡（吹屋跡）を出土し、中国の景德鎮などで作られた陶磁器の一部から、毛利氏が支配した前後ごろに、石銀に集落があり、遺跡はさらに約二畝に広がっていること

ろから、その集落も、一大集落群だったことが明らかにになった。

### 古文書は集落を語る

古地図によると「石銀」（標高四七〇尺）は山の名ではなく、集落をさしており、昔からのいい伝えには「石銀千軒」の名があり、元龜二年（一五七一）六月の手利家文書では、銀山納所（課税を扱う事務所）が扱った石金口役（石銀へ登る人から取り立てる通行税）は銀八十貫とある。

また慶長五年十一月、銀山へ下向した大久保長安が、毛利氏の代官から引き継ぎをうけた諸役書き出しの中で「石金酒場の

酒場役（飲食税）銀百二十四枚」とある。長安は、この石金酒場で事務引き継ぎを行なっているとこ

ろからも、石銀に「町」があったことは、古文書が早くから語りかけていた。

### 大集落を示すいい伝え

ここにあげた口役や酒場役の数字は、大変な金額であり、ふもとの町から石銀を結んで、人や馬の往来が、ひっきりなしだったことがうかがわれる。

それを裏づけるいい伝えに、雨の日に家の庇から庇の下を辿って、ふも

とから頂上まで、雨に濡れずに登られたといい、「古老物語聞き書き集」

（天明元年一七八一）は、慶長八年（一六〇三）の春、銀山で大火があった、いまの大横相から、石銀道の米かみ岩のころまで家が三千戸余り焼けたと書いていて、頂上まで家が建ち並んでいたことを、資料の上からも示している。

米かみ岩というのは、石銀に至る八合目付近にあり、佐毘売山神社の横から石銀へ登る人々が、そこで休憩したり、弁当を食べたりしたところで、以前は栃畑谷から米かみ岩が遠望できた。

### 石銀の間歩と寺院

石銀には福石鉱床という良鉱があつて、自然銀の鉱床は東西三百尺、南北二百尺にわたって広がり、地上から二十尺、五十尺の地下で眠っている。

神屋寿貞が、邇摩郡の韓島の沖から銀の氣を望見したのは、この福石鉱床であり、正徳四年（一七一四）の間歩改めでは、

石銀には「おべに間歩」という良鉱など三十口もあつたというから、銀掘りや精錬に当たる吹師、この人たちを相手にする商家など、大集落があつたことがうかがわれる。

石銀には庶民を対象とする、浄土真宗の専応寺という寺院があり、銀掘りたちの墓をつくって慰めるということをした。これは大久保石見守の銀掘りを精いっぱい働かせるための、精神政策でもあつた。

慶長の繁栄の基礎をつくった安原伝兵衛の屋敷が、水上側から石銀へ登る、石銀の七合目付近にあるのも、石銀集落が繁盛していた証拠の一つともいえる。



仙の山(石銀)と山吹山

# わが社のふれっしゅさん

- ①どんな動機で入社されましたか
- ②あなたが尊敬する方は
- ③あなたが最近一番良かったことはどんなこと
- ④あなたが最近一番気がかりなことはどんなこと
- ⑤あなたのPRをどうぞ
- ⑥あなたの会社のPRをどうぞ

株式会社大島屋  
西村あやさん



- ①地元に残り、地元で活躍したかったから。
- ②両親。
- ③何もなし。
- ④どんどん太っていくこと。
- ⑤バレーが好きです。

株式会社大島屋  
石橋裕子さん



- ⑥社長さんの明るさや細かい心配りが社内全体を活発にし、とても良い会社です。

- ①事務を希望していたのと、地元へのこりたかったからです。
- ②両親です。
- ③別にないです。
- ④冬になって雪が降り初めたら、どうやって通うか。
- ⑤明るいだけです。
- ⑥いろいろ品物がそろっています。どうぞ買いに来て下さい。

株式会社本工  
武田奈美さん



- ①大阪からUターンし、職安で「キヤドオペレーター」と書いてあり、コンピュータを操作してデザインが出来るのかなど、変わった会社だなと思いついた。
- ②両親です。自分が仕事を持ってみて大変さがわかり、親というのはもつと大変だなと思います。
- ③最近仕事にもなれ、チヨットむつかしいかな！と思う看板でも自分で仕上げる事が出来るようになったこと。
- ④特にありません。
- ⑤レクレーションや、社内旅行などもあり、若い人が多く活発で明るく楽しい会社です。

## ないしよの話

「ないしよ、ないしよ、ないしよの話はあのねのね」と童謡にも歌われるように、古今東西、人というのはいしよ話「ないしよ」は漢字で書くと「内緒」であり、江戸時代には、外で仕事を場所、たとえば商家では「見世店」に対して、私

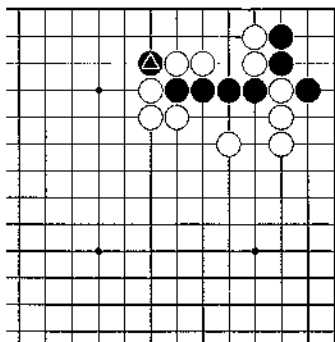
的な生活場所としての居間や台所を含めて「内緒」といいました。そこから転じて一家の経済、暮らし向きをも「内緒」といい、人さまに公にしないことや個人的秘密の意味でも使われるようになったのです。いくら「ないしよ」が好きでも、税金は一人一人が公平なルールで納めるもの。「ないしよ、ないしよ」は禁物ですね。

## 囲碁問題

余裕はない——●黒番

四手しか余裕のない黒にとって、頼みの綱は●一子だけ。のんびり打っている暇はありません。

勝負、勝負と切り込んでいってください。





# 《スーパー介護定期保険》 法人契約のご案内

役員・従業員の皆様の在職中の福利厚生はもちろんのこと  
退職金の準備資金としても活用できます。

## 特徴1 在職中(65才まで)高度障害年金が支払われます。

例：A社の社員Bさんは、業務中事故に遇い  
脊椎を損傷車椅子の生活となりました。

Bさん（35才）男性  
年金額：200万円  
保険料：15,440円（月払）

Bさんは、診断確定日より、一時金200万円  
高度障害年金200万円を高度障害状態が継続するか  
もしくは65才になるまで支払われます。その間、  
保険料は免除となります。

## 特徴2 法人契約をされますと、税法上の得点をうけられます。

ご契約年齢65才以上の方の場合  
一般の定期保険に該当・・・全額損金  
ご契約年齢64才以下の方の場合  
長期平準定期保険に該当・・・半額損金  
(保険終了時全額損金)



【お問い合わせ先】

法人会事務局 08548-2-0765  
青木 恵 08548-2-2226

おかげさまで《がん保険制度》全国15万社突破！  
引き続き、《スーパーがん保険》をよろしくお願い致します。

## 掛金は団体割引でしかも全額損金算入できます

節税効果の例 (45歳で75歳満了・5,000万円コースに加入の場合、保険料月額75,190円、年額902,280円)

法人税	902,280円 × 0.375 = 338,355円
事業税	902,280円 × 0.12 = 108,274円
県民税	338,355円 × 0.05 = 16,918円
市町村民税	338,355円 × 0.147 = 49,739円

節税額合計 513,286円

この制度にご加入されることにより、課税額が513,286円安くなります。したがって、実質負担額は388,004円と約43%ですみます。(法人税法基本通達9-3-5)

## 途中ご解約時に払戻金があります

解約試算表 (主契約のみ月額保険料53,650円)

	解約時 年齢	払込保険料 累計	節税後保険料 累計	解約時 受取金	実質返戻率
45歳加入 (男性) 保険金 5,000万円	50歳	322万円	161万円	200万円	124.2%
	55歳	644万円	322万円	400万円	124.2%
	60歳	966万円	483万円	628万円	130.0%
	65歳	1,288万円	644万円	808万円	125.4%
	70歳	1,610万円	805万円	840万円	104.4%

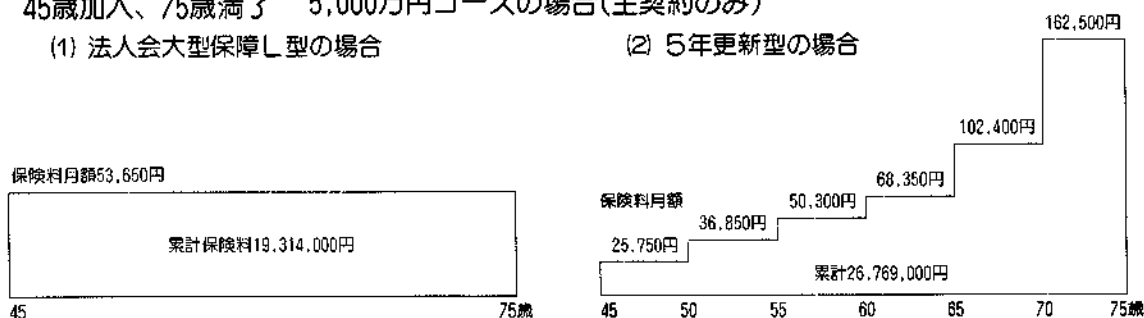
(注) 節税後保険料は、法人税等総合税率を50%として算出。  
上記の表は昨年度配当実績に基づいたものです。

## 掛金は保険期間中一定です 更新はありません

45歳加入、75歳満了 5,000万円コースの場合(主契約のみ)

(1) 法人会大型保障L型の場合

(2) 5年更新型の場合



社団法人 石見大田法人会

TEL 08548-2-0765

# 法人会の制度はこんなに有利です

## 『法人会の大型保障制度』

従業員を守る制度や法律はいろいろありますが…

(下表参照)

	労働基準法	最低賃金法	労災保険	雇用保険	健康保険	厚生年金保険
経営者	×	×	×	×	○	○
従業員	○	○	○	○	○	○

(労災保険、雇用保険については、特別加入を除く)

現場型、営業マン型経営者にとって力強い内容!!  
勤務時間外も保障致します。

- 24時間保障 ●地震など天災による事故も保障 ●通院・入院・看護・後遺傷害等の保障
- 海外での事故・病気も安心(現地対応) ●割安な保険料 ●全額損金 ●掛金は一定

### ◎こんなにちがう給付金内容!!

(例1) 建設業経営のKさんは、資材置場で作業中、右手小指を切傷し、10日間通院したが障害が残った。  
(5,000万コース加入時)



〈一般の生命保険の場合〉

〈法人会の場合〉

傷害10万円	通院保障 10日×11,000円=110,000円
	後遺障害 5,000万円×5%=250万円
計 10万円	計 2,610,000円

### 〈特長〉

事故による入院は **1日目** から  
事故による通院は **1日目** から  
病気による入院は **5日目** から

※この他にも医療実費が支給されるなど  
幅広い医療給付が受けられます。

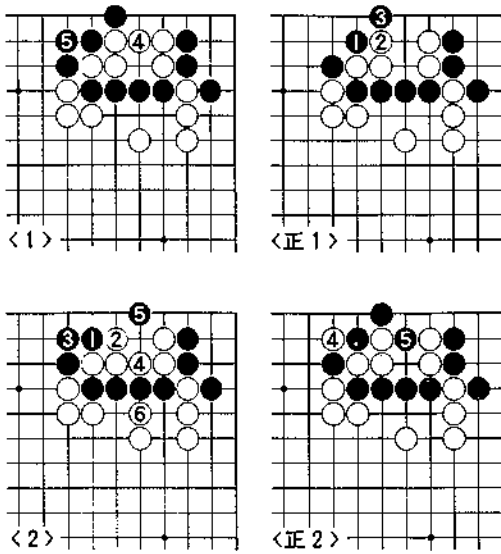
〈注〉経営者の方々は、よほどのことがないかぎり入院はされません。  
入院して1日いくらという保険は本当に経営者のための保険といえるのでしょうか。一度、見直されたら如何がでしょうか?  
この制度は事故による通院・入院は1日目から保障します。



# 囲碁問題の解答

正解図1、2（ハネ、ハネ）黒1のハネは打ても、つづく3のハネは手筋の力を借りなければ、とても打てるものではありません。黒5まで、あつという間に白、ちつ息状態です。

1図（一手勝ち）白4とツイでも負けは負け。  
2図（俗筋）黒3は弱気虫。白6で一手負け。



## 編集後記

本年十月二十五日、当法人会創立四十周年記念式典を挙りましたが、創立当時から会に係って来たものとして、感無量でありました。

又、六年前の九月九日、法人会を社団化し、盛大な式典を開催したことも、まるで昨日のこのように想い出されます。

今後は、新しい社団法人としての節目毎に祝典を行うことになり、創立から十年毎の記念行事は創立当時の会員も世代交替で少なくなったので、今回を最後にしたいという意図のもと、ご来賓も過去歴代の税務署長さんはじめ、税理士会の役員さん、大田にゆかりの方をお招き申し上げたのであります。

従って式典、祝賀会とも、なつかしさあふれる

ものとなりましたが、本文のレポートでお汲み取りいただければ幸であります。

法人会報誌「天領」は発刊以来、今回で二十八号、十四年が経過しましたが、郷土史家石村先生には、創刊号よりお世話になり、第五号よりは、「天領秘話」を、第十八号よりは「石見銀山・根ほり葉ほり」の玉稿をおよせ戴いておりましたところ、此度、先生には業ある山陰中央新報社の地域開発賞を受賞せられ、心からお祝い申し上げます。先生の今後益々の御活躍と御健康を此の欄をお借りしてお祈り致します。

又、創刊以来、事務局として、取材・編集等万般に亘りお世話頂いています大田商工会議所の勝部

哲男課長が、此の程、事務局長に榮進されました。お喜び申し上げますと共に、御多忙とは存じますが、今後共変りませず御支援賜りますようお願い申し上げます。上げる次第であります。

本号は特に、創刊四十周年と通常の会報を一冊にまとめましたので、内容も豊富であります。ご協力賜りました先生方及び会員の皆様に厚く御礼申し上げます。尚、最後に編集に携った広報委員を紹介させていただきます。

- 担当副会長 和田俊二
- 広報委員長 渡辺常弘
- 広報副委員長 西村禎二
- 石田憲咲 石田弘行
- 貴船富市 小林博通
- 竹腰和夫 波多野諭
- 波多野司 松井義夫
- 三谷忠義

大変御苦勞さまでございました。(広報部 渡辺)



◆各種自動車・民間車検工場◆整備・钣金・保険◆新車・中古車販売

## 大田車輛株式会社

■本 社 / 大田市大田町大田柳井イ763  
☎(08548)2-1095(代)・FAX(08548)2-1096  
■綿田工場 / ☎(08548)2-3984

車両から構造物まで多くの実績と経験で解決致します

塩害等  
による

# サビ・腐蝕

で、お困りでは  
ありませんか?

中国運輸局優良認定特殊整備工場(一種)  
JA自動車共済指定整備工場

事故車修理・塗装・半永久防錆アルミ合金表面処理・プラスト加工

### 大田钣金塗装工場(有)

大田市長久町長久 TEL(08548)2-0960(代) FAX(08548)2-3320

あらゆる分野に貢献する



設計施工 島根県知事許可(特-5)第3915号

## はたの産業株式会社

本社 / 島根県大田市大田町駅前 TEL (08548)2-0468



スズキ株式会社 島根県総発売元

## 石東スズキ販売(株)

代表取締役 大谷光弘

大田市大田町大田イ103-1 TEL 08548-2-0678(代) FAX 08548-2-7208

総ヒバ造りの家

♪長持ち・健康♪

ベイヒバ材の家づくり

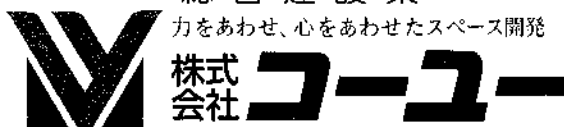


## 大前建設株式会社

島根県邇摩郡仁摩町大字仁万町524-2  
TEL(08548)8-3200・FAX(08548)8-4274

総合建設業

力をあわせ、心をあわせたスペース開発



取締役社長 田原義弘

専務取締役 田原裕司

〒694 島根県大田市久手町刺鹿1831 ☎(08548)2-8126(代)・FAX(08548)2-7325



社団法人 石見大田法人会会報 第28号

平成6年12月25日発行

発行所 社団法人 石見大田法人会

編集 広報委員会 委員長 渡辺常弘

大田市大田町 大田商工会議所内  
TEL (08548) 2-0765

印刷 つきはし印刷

大田市島井町 TEL 2-0540